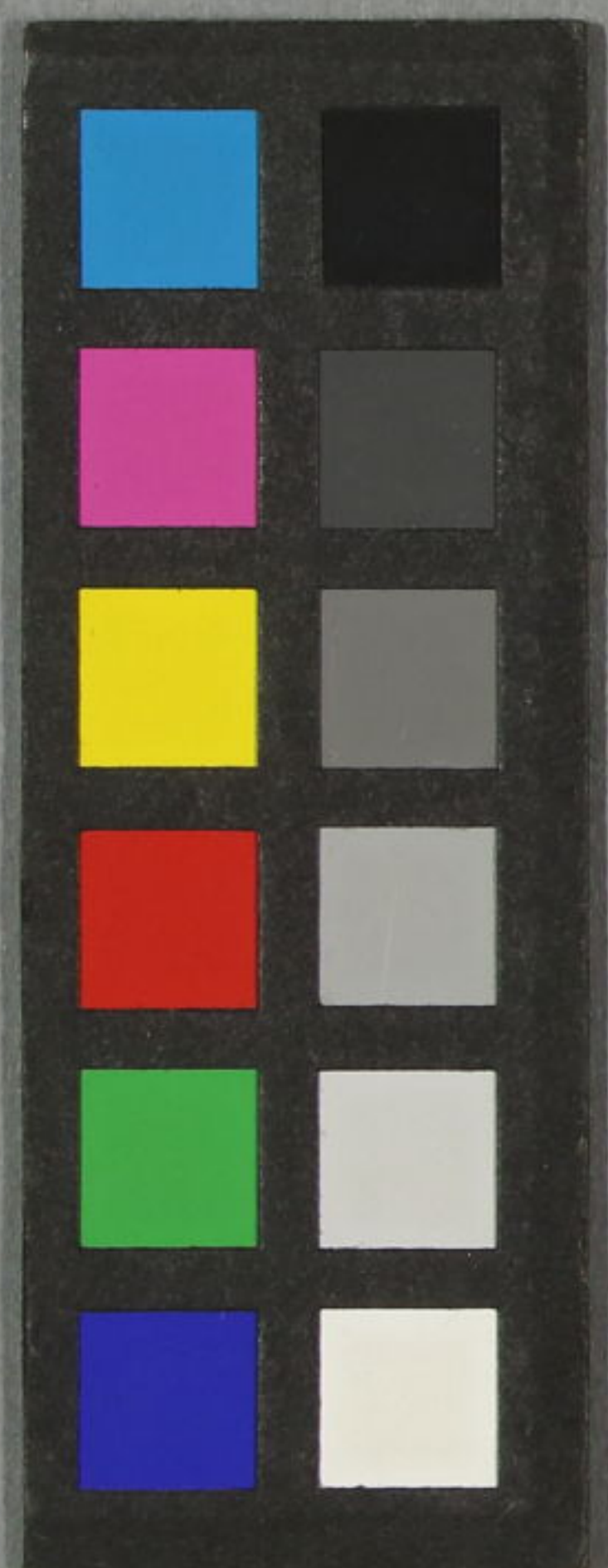




へ13
3811
42



兒雷也三十八編上

種負化芳樂畫
甘泉寺梓

子魚

一

南溪の蓮子袋ふ記を蛙輪蛇の三疎へ佛家の
貪瞋癡なる。かゝる貪へび能瞋る。あめらの
踏こと現る。痴なり。是を私考ふ讃て
言へ。智仁勇の三徳ある。秋結輪が誕字
則ち智なり。て蟻蛇の怪力又勇あり。びや。
蝦蟆田心の虚實を料理て苗養水小雨を
呼は。是を以て仁と謂べ。古今の序め歌を
可笑い童遊の虫拳は母指をて蛙と一指指
て出い輪とさる。兒雷也綱手が夫婦の理えぬ。
人さ指と蛇とさる。ハ鱗ゆいの癖めや憑らん



万延辛酉春

柳下亭種員

己雷也廿八編

上杉五郎景憲



一色太郎顯廣

見習出陣八編



蟻

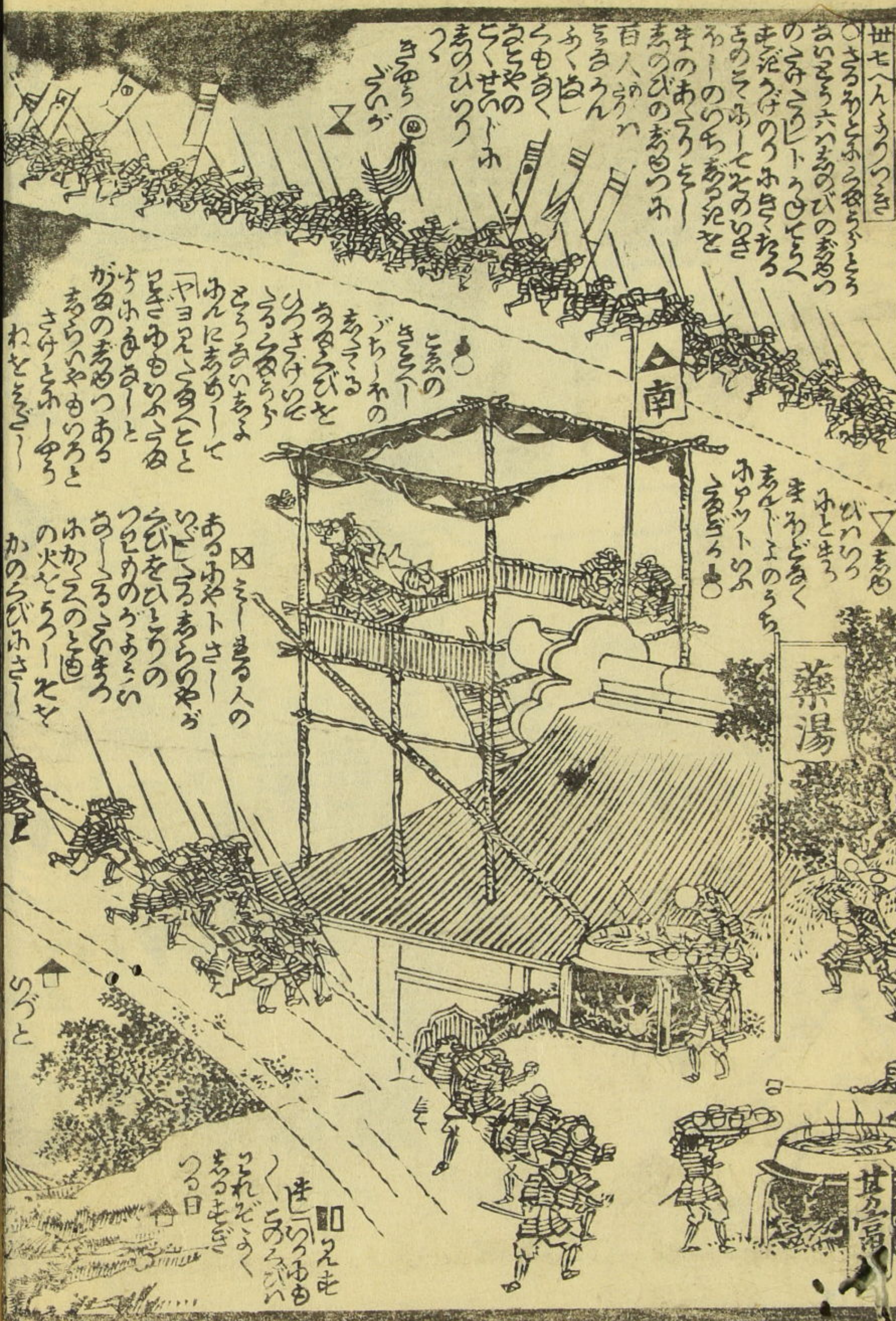
足利馬頭持朝臣

犬懸入道禪秀



其力富

〇〇えむ
 せいのあも
 くろくひん
 つれどく
 まるまじい
 つる日



四

[illegible]

Ṗ

皇のふたにみづのふたに

[illegible]

[illegible]

あんなにありに
つのもあるさ
あゝのめを人のま
ととふありひら
るあうちまるな
もくの癪^{しや}
あゝあゝわヤイ
めんじよう
うものけ
もうで
あゝろ
ろろろ
て甲



甲あきあき
乙のせう
とふあふ
うちのり

三
 かんえんは
 きーののいん
 かんとうちゆ

こめ
はせとろ
そつとよひ
あゆびうら
とまのり





種員遺稿
國芳圖画

安政六己未年孟春新鐫目録

根源實此紫
笠亭仙果作
十二編
十三編
十四編

新增補西國奇談
梅蝶樓國貞画
為永春水作
七編
八編
九編

琴聲美人録
山東庵京山作
十六編
十七編
十八編
立川齋國郷画

地本繪草紙團扇問屋
佐野屋喜兵衛板
芝神明前二場町角

松梅竹取物語
樂亭西馬作
初編
二編

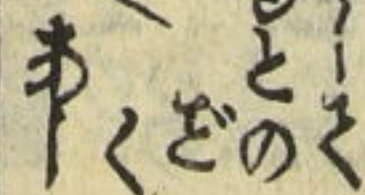
娘庭訓金鶏
梅蝶樓國貞画
山東庵京山作
三編
四編
五編

花兄弟陸奥名所
笠亭仙果作
初編
二編
同画

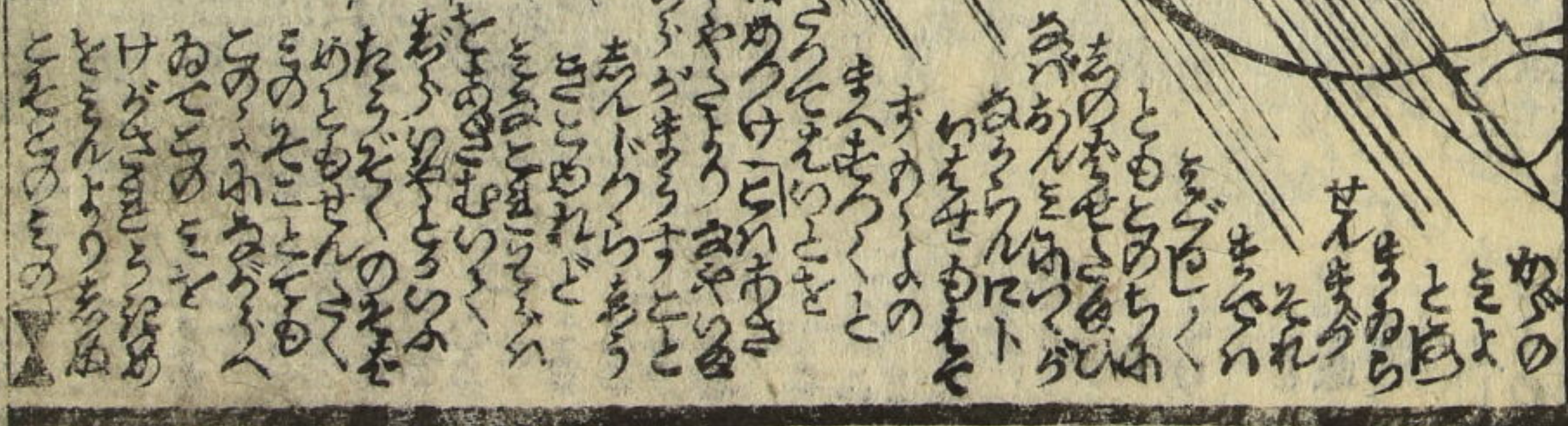


一

もくどく

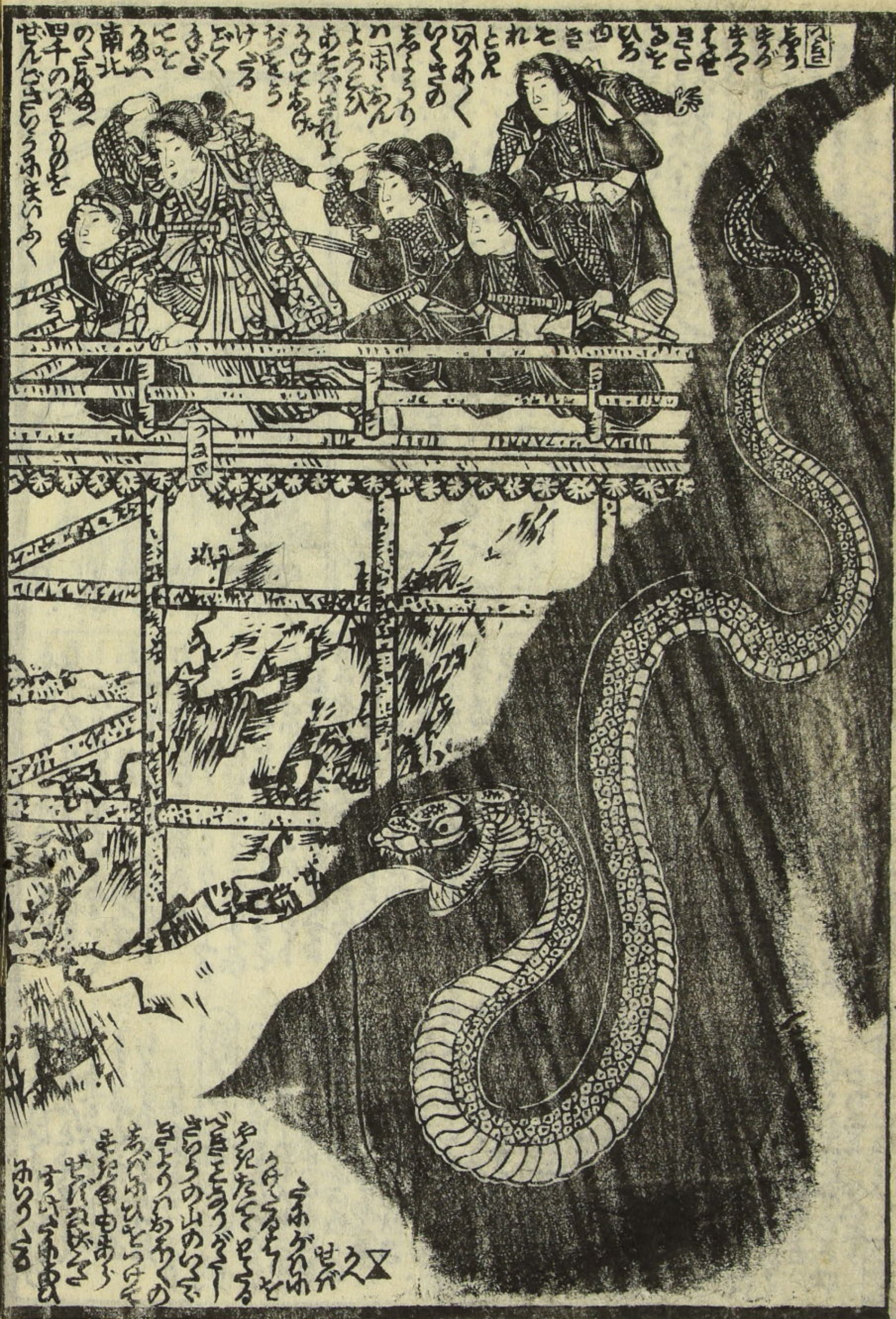


わがの
とよ
と色
まゐら
せんま
それ
きん
まぐし
ともちのち
あのをやそひ
あをんとくひ
あうらんこト
なせむさ
すめいよの
まふろくと
らてえりこと
あつけにあら
やくとうおや
うまうすこと
あんどうらあ
むいぬれど
まふろくと
あうらうら
たうぞくのそ
めとせんく
このそとと
このゆあう人
あうらう
けんまう
あうらう



This is a black and white woodblock print illustration, likely from a Japanese book. The scene depicts two figures in a landscape. On the left, a figure is lying down, wearing a checkered garment with a circular emblem. On the right, a figure is sitting up, looking towards the left, wearing a patterned garment. The background is filled with dense, stylized foliage and trees. The entire scene is framed by a border of Japanese text.

[illegible]



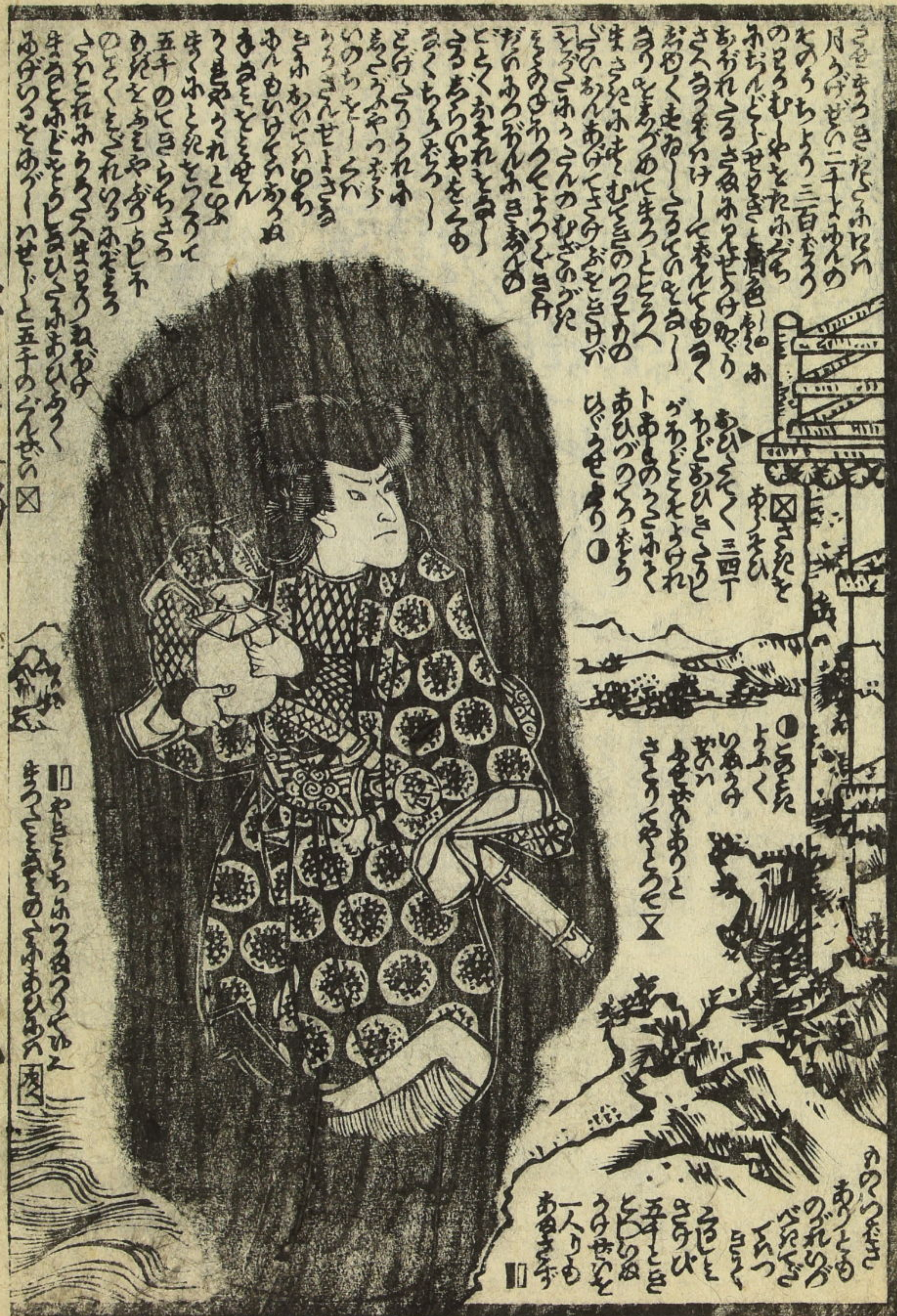
久々
世が
ふかき山
をいそいで
さうの山の
まへに
あつた

ちやうど三つきたりふたつ
 月うづぎの二年よめんの
 なめうちより三百をう
 のはらむゆきをたふぢ
 ちちんどもせむきと膚色
 ちちれくるさぬめをせうけぬ
 さんかうをわけくをせむ
 おやくまねくころをせぬ
 かりをまづめてまうと
 まさたふまむてまうと
 どのあんあはてふゆき
 ちちんふうてふむき
 まねのあつとふて
 だめぬがらんふま

あひまをく三四下
ちどあひまをく
グアどとそよはれ
トあひまをく
あひまをく
ひどをく

① ちんちん
 よふく
 りあうひ
 ちんちん
 あまのあまの
 さうりやうとつて

ありとも
のれりか
べんてい
ふつ
さう
るじと
まぢび
五平と
とらぬ
うのせを
一人りも
あなま



にとくちまねとせう
 するちりのやをこの
 ちくちうせう
 とげふりうれふ
 あさうふやのそ
 のちをーとげ
 りうせうせう
 ちふあひてふち
 かんむいけちあうぬ
 ちまんとせうせん
 うせうとれとふ
 まくふと死をうりて
 五千のてちちちう
 め死をふちやうちし
 のとくちこれのふせう
 といこれふちう
 牛のふせうとせう
 めげのつとふせう

[illegible]

皇朝文獻通考

十一



種員遺稿

國芳圖畫

忠臣貞婦
伊呂波文庫
五十六七

柳煙亭種久作
一勇齋國芳畫

黃金水大盡盞

十一編 十一編 十一編
爲永春水作
一勇齋國芳畫

假名
反古
一休ろきう
し

十三編
十四編
十五編

柳下亭種員作
勇齋國芳書

地本錦繪
孝紙問屋
甘泉堂
芝神の所
和泉屋市三

孝紙問屋

